

17万冊余の図書を擁し
教育・研究のための学術資料提供や
学習の場の提供を通じ、
大学の知の源泉としての役割を
果たしています。

先生から
『学生に読んで
もらいたい本』



掛下知行学長



読むたびに新たなことを考えさせられる本です。
「なぜ」という疑問を発しながら進行する形で綴
られています。文系理系問わず読むことのでき
る名著です。

「ロウソクの科学」 ファラデー著

「霸王の家」 司馬 遼太郎著

「越前の諸道」(街道をゆく18) 司馬 遼太郎著

「僕の世界」 隈 研吾著

「荒くれ漁師をたばねる力」 坪内 知佳著

「理工系の量子力学」 掛下 知行、糟谷 正、中谷 亮一著



工学部長

片岡先生



道元は仏教の教えだけではなく、私たちの生き方にもヒントになる味わいのある言葉を多く残しています。それらについてもわかりやすく説明した本です。福井で勉強をする人は是非読んでおきたい本です。

「道元入門」(角田 泰隆著)

「DNA 上・下」(ジェームズ・D・ワトソン著)

「学問の発見」(広中 平祐著)

「量子力学の世界」(片山 泰久著)



スポーツ健康学部 学部長

戎 利光先生



読みやすく書かれていて、読みながら自分の生き方や仕事の探し方などを考えるきっかけにもなりそうな図書であり、本学の学生に推奨します。

「20代で身につけたい働き方の基本」小林 樹彦(著)

「ライフスタイルと健康の科学」(戎 利光著)

「食べるとはどういうことか」農村漁村文化協会



環境情報学部 学部長

矢部希見子先生



カバーに少女漫画のような絵が描かれているため、少女向けの軽い小説と誤解されやすいが、学生はもちろん、大人、そして政治家も読んでもらいたい本である。

「十二国記」(小野 不由美著)

「生き方」(稲盛 和夫著)

「植物はそこまで知っている」

(ダニエル・チャモヴィッツ (著), 矢野真千子 (翻訳))

「本当の幸せに出会うスピリチュアル処方箋」(江原啓之著)



新図書館長

木村恒久先生



レポートや論文を書く前に必読の書です。漫画編とあわせ是非本編も読んで下さい。

「空気の発見」(三宅 泰雄著)

「古典力学」(ゴールドスタイン著)

「ファインマン物理学」(3)電磁気学 (ファインマン著)

「星の王子さま」(アントワーヌ・ド・サン-テグジュペリ著)

「モンテ・クリスト伯」(アレクサンドル・デュマ・ペール著)

「悪魔の辞典」(ピアス著)